

中小企業景況調査報告（2020年1～3月期）（概要版）

2020年5月
青森県商工会連合会

<調査概要>

調査時点 : 2020年3月1日

調査対象期間 : 2020年1～3月期実績及び2020年4～6月期見通しについて調査

調査対象 : 中小企業

調査方法 : 原則として、全国の商工会、商工会議所の経営指導員、及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接、聞き取りによるもの

回収状況 : 261/287企業（有効回答率90.9%）

<今期の景況>

産業	産業別業況判断DI		売上額DI	
	前年(2019年1～3月)	今期(2020年1～3月)	前期(2019年10～12月)	今期(2020年1～3月)
全産業	△24.3	△36.8	△39.6	△38.6
製造業	△17.7	△26.6	△34.0	△20.0
建設業	△26.5	△22.8	△37.2	△42.8
卸売業	△27.8	△16.6	△35.4	△27.8
小売業	△36.3	△61.6	△65.6	△63.6
サービス業	△17.1	△33.7	△26.3	△30.7

産業	経常利益DI		今期直面している経営上の問題点第1位(%)
	前期(2019年10～12月)	今期(2020年1～3月)	
全産業	△30.3	△36.1	
製造業	△26.5	△28.0	従業員の確保難21.7
建設業	△35.3	△31.4	材料価格の上昇21.2
卸売業	△25.0	△15.8	需要の停滞29.4
小売業	△41.4	△52.3	需要の停滞23.8
サービス業	△23.6	△35.2	利用者ニーズの変化への対応17.9

全産業の業況判断DIは前年同期に対して悪化。卸売業、建設業は回復したものの、製造業、小売業は低迷し、最も悪化したのは小売業であった。全産業の売上額DIは前期並み。建設業、サービス業は低調だったものの、製造業、卸売業はやや持ち直す結果となった。経常利益DIでは全産業で前年同期、前期に対し悪化。建設業と卸売業が持ち直したものの、製造業はほぼ横ばい、小売業、サービス業は悪化した。

※DI…増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値。

<来期の見通し>

全世界へと広まった新型コロナウイルスの影響は、国内外の経済に甚大な影響を及ぼしている。本県でも、特にサービス業、小売業、卸売業での「需要の停滞」が著しい。景気は後退局面に突入し、中長期的な不況局面へと向かうことが懸念される。感染拡大防止のための行動変容とともに「巣ごもり消費」「電子商取引の利用増加」など、「消費行動の変容」も今後ますます進むものと考えられる。当面は、自粛要請機関の売上減少、資金繰りの問題を解決しなくてはならない。政府、自治体等による経済支援策が早急かつ柔軟に実施されることが望まれる。個々の企業、事業所は、変化への時期として受け止め、今後の様々な経済的変化を想定した事業の見直し、業態変化を強いられることが予想される。